

旭労災病院ニュース

病院情報誌 第141号 平成29年8月1日発行

発行所：旭労災病院

〒4888885

尾張旭市平字甲北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.johas.go.jp/>

整形外科の診療体制，診療実績について

整形外科主任部長 花林 昭裕



当院整形外科の診療体制，診療実績についてご紹介いたします。

当院整形外科は，現在5人の常勤医により診療を行っており下記に示します表のごとく外来を担当しております。その他，毎週水曜日の午後には愛知医科大学病院 痛みセンターからの脊椎外科医である井上医師による脊椎外来を開設しており，脊椎疾患に限らず，様々な原因による慢性疼痛に対しても適切な治療を行っております。皆様のクリニックにおいて慢性疼痛でお悩みの症例がございましたら是非ご紹介ください。

手術に関しては近隣のクリニックから多数ご紹介頂くおかげで毎年症例が増加し，昨年度は600件を超えました。その内訳は主に骨折に対する観血的整復固定術であり，今後もAO trauma Japanの教育活動に参加することにより常に最新の知見，技術，インプラントを用いて，各骨折に対して低侵襲で早期に受傷前の機能回復が得られるよう努力しております。

また，人工膝関節置換術，人工股関節置換術も積極的に行っており，昨年度は両関節合わせて66例に手術を行いました。

それ以外にも，以前当ニュースでご紹介いたしましたエコーガイド下の神経ブロック（腋窩神経，正中神経，尺骨神経，大腿神経，坐骨神経など）を用いることにより確実な無痛状態での手術が可能となり，橈骨遠位端骨折をはじめ，肘頭骨折，上腕骨顆上骨折，前腕骨幹部骨折，アキレス腱断裂，中足骨骨折なども入院することなく日帰りでの手術が可能となっております。

今後も皆様の信頼に叶う医療に心がけてまいりますので，多数の症例をご紹介いただけますようよろしくお願い申し上げます。

整形外科外来担当表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 診	花林	花林	木全	花林	木全 (人工膝関節)
2 診	浅野	浅野	與吾	浅野	宗宮
3 診	宗宮			與吾	
午後			井上 (脊椎)		

● 病診連携室連絡先 ●

フリーダイヤル 直通電話 0120-53-6196 (平日 8:15~19:00、土曜日 9:00~12:00)

FAX 0120-53-8459

内科系当直ホットライン：070-5442-5500 (平日 17:00~8:15 及び土・日・祝)

外科系当直ホットライン：070-6972-7456 (" ")

小児の事故

小児科副部長 上田 晶代

我が国での小児の死因の上位に不慮の事故があります。出掛ける機会も多いこの時期、いつも以上に注意が必要となります。

子どもの事故は受傷機転から、転倒・転落、熱傷、窒息、切り傷、誤嚥・誤飲、溺水、交通事故、動物咬傷・虫刺症等に分類されます。

転倒・転落は1歳前後に多く、頭部が大きく重いため頭部外傷がよくみられます。2-3歳以降では戸外での転倒転落や屋内で階段からや踏み台に登りベランダや窓からの転落があります。階段に柵を設置したり踏み台となる物を置かない等の対応が必要です。

熱傷事故は2歳未満が半数以上です。発生場所は9割近くが家庭内で、原因は火災、花火、衣服への引火、熱湯、炊飯器等の蒸気、暖房器具、鍋等の調理器具、味噌汁等の調理食品等です。年長児の花火等の遊びも注意が必要です。

異物誤飲はハイハイが始まる頃から3歳までが好発年齢です。中毒事故の起因物質は化粧品、タバコ、洗剤等の家庭用品が最多で次いで医療用医薬品です。ジュースの空缶の吸殻入れ・菓箱としてのお菓子箱・カラフルなりキュール類等は誤って口に入れやすく注意が必要です。

気道異物は2歳以下の乳幼児に多く、3歳以下では豆類等の食物で4歳以上ではおもちゃ等非食物性が主な原因です。窒息に繋がり急を要する場合があります。

事故予防全般に共通することですが、物の適切な保管・管理が大切です。

溺水は乳幼児では浴槽でが多く、年齢が上がると海や川、プール等で多くなります。浴室以外にトイレ、水槽、洗濯機等での溺水も多く、また10cmの溜め水でも溺水が起こるため生活環境では水を溜めないことが原則です。

動物咬傷・虫刺症では局所症状のみでなくアナフィラキシーの可能性もあり注意が必要です。また、食物アレルギーのある児で子供同士のお菓子のやり取り含めた誤食も散見され、疾患への理解や情報共有が必要です。

不慮の事故は小児に限らず未然に防ぐことの可能なものも多く、保護者等への情報提供が大切です。